

第7回倉敷市総合計画審議会 第2分科会議事録（要旨）

会 議 名 称	第7回 倉敷市総合計画審議会 第2分科会（文化・産業）	
開 催 日 時	令和2年10月7日(水) 10:00～11:57	
開 催 場 所	倉敷市役所 議会棟3階 第2会議室	
出席者 ※敬称略	審議会 委 員	井上 稔裕, 大賀 環子, 大島 康弘, 尾崎 聡, 後藤田 恵子, 永井 圭子, 中島 光浩
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員ほか担当部署職員, 事務局
関係者	関係者	委託事業者
傍聴者	傍聴者	なし
欠席者 ※敬称略	審議会 委 員	
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 倉敷市第七次総合計画（素案作成用資料）について <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本構想及び基本計画について（報告） (2) 倉敷みらい創生人口ビジョン及び倉敷みらい創生戦略について 3. 今後の予定について 4. その他 5. 閉会 	

1. 開会

2(1). 基本構想及び基本計画について (事務局説明)

2(2). 倉敷みらい創生人口ビジョン及び倉敷みらい創生戦略について (事務局説明)

審議

分科会長	本日の審議は基本的にみらい創生戦略についてだが、最後の分科会なので素案全体の意見も聞きたい。
市	24頁。これまで、様々なご意見をいただいているが、糸がつく象徴的な漢字を「紡(つむぐ)」の一つに絞りたい。
分科会長	第2分科会では大きな問題である。委員の皆さまはどうか。
委員	一つのほうが良い。統一感がある。
分科会長	「維」という字も捨てがたいが、全体の中でここだけ2つというのもレイアウト上でどうかと思う。
委員	「紡」の説明書きに「維」の文字は入っている。
委員	説明書きは文字の意味だけではなく、どういう理由でこの文字をあてたのか、どんな意図なのかを入れたい。
分科会長	例えば、市民が寄り添うとか、つながるとかのキーワードを事務局で表現することができそうか。作文は事務局にまかせる。
分科会長	大きなつくりとして、今回は人口ビジョンとみらい創生戦略を合本にするということで理解した。
市	他の分科会で人口ビジョンの位置づけがわかりにくいとの意見があった。人口ビジョンは総合計画の10年にかかる長期的なものなので、序論部分に移動して、倉敷を取り巻く現状として人口ビジョンを説明した後に、基本構想、基本計画、みらい創生戦略という流れにするのがよいのではないかと検討している。
市	分科会は最後になるが、見せ方については、これから時間の許す限り、事務局で修正させていただきたい。
分科会長	7次総の項目の中で、人口減少の部分が一番ショックだったので、序論に持ってくるのはよいと思う。
委員	伝統芸能や伝統文化の分野でも、高齢化により担い手が減少している。人口減少をどうするかは文化の振興にもつながる。
分科会長	SDGsのアイコンは直感的にわかるが、字の部分の見やすさもほしい。
市	これからデザインが入るので、なるべく見やすくする。
分科会長	140頁。セッション数、リーチ数、タグ付けとあるが、言葉の説明があったほうが理解しやすいのではないか。
委員	数を増やすということが伝わればよいので、あまり細かい説明はい

		らないと思う。ウェブサイト関係の数を増やそうとしているということが何となく伝わることのほうが大切だ。
委 員		16 頁。同じ船穂地区のことなので、スイートピーとマスカットの左右を入れ替えてほしい。
委 員		63 頁。漁業所得の数字がよくわからない。収入から経費を引いたものか。
	市	経費を引いたものである。巻末の指標の算出方法一覧に「漁業所得者の平均所得」と説明がある。
分 科 会 長		125 頁。グラフを見て、児島はこんなにも高齢化するのかと思った。倉敷の経済を支えていた時期もあり、若い人も多かった。グラフで一目瞭然にわかってしまう。
委 員		確かに当時は皆若かった。人口減少については、こうなってしまうということを前提に、より良い社会と暮らしを作っていくということではないか。
委 員		新型コロナウイルス感染症の影響で、学生が地方から東京に行くことができずにオンライン授業になった。逆を言えば、地方にいても学べるし、仕事もできる環境になったということ。結婚・出産だけにとられず、人口減少を食い止める新たな視点を持つことも大切と考える。
委 員		人口減少は財源の問題でもある。高齢になって養われることなく、長く働ける環境づくりも必要ではないか。我々の産業では手に職をつければ 75 歳まで働ける。年 200 万円としても 10 年で 2,000 万円になる。そうすれば人口が減ってもなんとかなりそう。 職人を育てて産業を維持する。個人でできないことは、こういった市の計画でサポートしていくといった役割分担があればよい。
委 員		若いころに東京に出て行って、仕事を持って帰れる環境づくりをすべき。地方は物価が安いので十分暮らせる。
分 科 会 長		単純な人口増だけではなく、そういった仕事を持って帰る視点もある。他にあるか。
委 員		人口は住民票の数で数えているのか。
	市	住民基本台帳の数を基にして、国の算出方法を用いて推計している。
委 員		水島は、コンビニートで働く単身赴任の人や、学生など、市外に住民票を置いたまま居住している人が、他市と比べたら多いように思うので、実数は異なるのかなとも思う。数値には外国人労働者や留学生も含まれているのか。
	市	外国人も含まれている。
委 員		美観地区は、先の 4 連休に賑わっていたようだが、観光客は戻ってきているのか。
委 員		現時点では GoTo トラベルキャンペーンでとても増えている。ただ、

		終了したらどうなるのかという不安もある。終わった時を見据えておく必要がある。
委 員		玉島にも周遊できるような仕組みがほしい。岡山市の「めぐりん」のようなバスとか。
委 員		児島にはジーンズバスがある。160 円で乗り放題。鷺羽山や王子が岳に行くような3つのルートがある。
委 員		玉島にはせっかく新幹線の駅があるのにもったいない。古い街並みや円通寺、湊などをバスが周遊すれば、岡山市から倉敷、そして玉島へと観光に来てくれるかなと思う。今のままでは外から来た人の足が止まってしまう。
委 員		64 頁。グラフの観光客数，市内宿泊者数の H30 が極端に少ない。豪雨災害の影響なのか。
分 科 会 長		当時，外の人からは倉敷市の全体が被災したかのように思われていた。そのあたりが影響したのかもしれない。
委 員		この分科会の最初に倉敷市の魚を決めようという話で盛り上がった。外から来てくれる人におすすめできる料理があればと。決めきれなかったのが残念だ。
委 員		結局，倉敷は何でもあるし，何でもできるから一つに集中するということが逆に難しい。地域の特性のように思う。ある意味，恵まれているから，皆で協力して一つのものに絞ることがないのだろう。
分 科 会 長		倉敷駅前マンション群になっていくのだろうか。
委 員		建ったらすぐ完売しているようだ。投資目的で買っているケースもあるようだが。景観条例で建てられないエリアから外れたところにどんどん建っている。
委 員		倉敷市は以前，全国の「住みたいまち」のランキングで上位にいたように思う。医療体制も進んでいる。病院，学校，晴れの国。しっかりアピールしてランクを上げたい。
市		日経リサーチか何かで，そのような結果だったように記憶している。
市		先ほどの周遊の話について，65 頁で「日本遺産の物語も活用した，二次交通の充実など，周遊性を高める観光インフラの整備」とある。また，83 頁には公共交通のことを触れている。
分 科 会 長		茶屋町は人口が大きく増えた時期があったのか。
委 員		以前はどんどん開発をしていた。その影響で人口が一気に増えて，茶屋町小学校や東陽中学校は増築することになった。今は農地を守るために，農家住宅しか建てられなくなっている。
分 科 会 長		他はよろしいか。では，本日の意見をまとめて，事務局で反映できるところは修正を加えていただきたい。

3. 今後の予定について

4. その他

5. 閉会